



2023年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月12日
上場取引所 東

上場会社名 Oakキャピタル株式会社
 コード番号 3113 URL <https://www.oakcapital.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長グループCEO (氏名) 稲葉 秀二
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役グループCFO (氏名) 秋田 勉 TEL 03-5412-7474
 定時株主総会開催予定日 2023年6月28日 配当支払開始予定日 -
 有価証券報告書提出予定日 2023年6月29日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期の連結業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	2,047	△21.6	△771	—	△582	—	△687	—
2022年3月期	2,611	△52.8	△1,034	—	△969	—	△1,663	—

(注) 包括利益 2023年3月期 △831百万円 (—%) 2022年3月期 △1,790百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	△9.22	—	△16.6	△7.8	△37.7
2022年3月期	△29.62	—	△37.8	△12.8	△39.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 △85百万円 2022年3月期 △229百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	7,560	4,504	56.0	52.49
2022年3月期	7,361	4,155	54.8	59.73

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,232百万円 2022年3月期 4,031百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	△1,021	941	△576	1,303
2022年3月期	△1,189	△185	1,082	1,956

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2023年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 2024年3月期の配当予想額は未定であります。

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

当社の事業特性上、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから、業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに、合理的な予想の算定が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2023年3月期	80,676,080株	2022年3月期	67,535,604株
2023年3月期	42,868株	2022年3月期	41,906株
2023年3月期	74,611,066株	2022年3月期	56,172,740株

(参考) 個別業績の概要

2023年3月期の個別業績（2022年4月1日～2023年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	221	30.8	△341	—	△720	—	△815	—
2022年3月期	169	△89.6	△645	—	△341	—	△2,690	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期	△10.94	—
2022年3月期	△47.90	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2023年3月期	4,700	4,360	4,360	4,152	92.7	54.02	54.02	
2022年3月期	4,682	4,152	4,152	4,152	88.6	61.46	61.46	

(参考) 自己資本 2023年3月期 4,355百万円 2022年3月期 4,148百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
特記すべき事項はありません。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
4. 個別財務諸表	17
(1) 貸借対照表	17
(2) 損益計算書	19
(3) 株主資本等変動計算書	20

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）における我が国経済は、米国及び欧州でのインフレ抑制のための急速な利上げの影響による米国銀行の破綻に端を発する金融システムへの不安等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような事業環境の中、当社グループは、2022年6月に公表いたしました2023年3月期から2025年3月期の3か年を対象とした「第1次中期経営計画」に基づき、3つの事業領域（「狩猟型ビジネス」「農耕型ビジネス」「開発型ビジネス」）において、金融事業を中心とした将来に向けた当社グループの成長に資する新たな事業の確立を図るとともに強固な経営基盤の構築と価値共創を実現すべく、事業戦略を推進し、当社グループの経営目標値である連結売上高250億円、連結純利益20億円、時価総額600億円を達成するための取り組みに注力してまいりました。

事業セグメントごとの経営成績等の状況は以下のとおりであります。

なお、当期において、当社が株式会社ユニヴァ・フュージョン及び株式会社ユニヴァ・ジャイロンの株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、同社の事業を新たにビューティー&ヘルスケア事業及びデジタルマーケティング事業として報告セグメントに加えることといたしました。そのため、ビューティー&ヘルスケア事業及びデジタルマーケティング事業につきましては、前期との比較・分析は行っておりません。また、モバイル事業につきましては、2022年8月にモバイル事業を営んでいた株式会社ノースコミュニケーションの全株式の譲渡に伴い、連結の範囲から除外したため、前期との比較・分析は行っておりません。

金融事業

金融事業では、スターリング証券株式会社がコーポレート・ファイナンス、M&A仲介、IR、成長戦略の提案などの投資銀行業務及び上場企業の経営課題を解決する支援に取り組んでまいりました。

以上の結果、既存投資先の表明保証違反に伴う解決金を投資回収の一環として売上高に計上したことなどにより、金融事業の売上高は2億99百万円（前期比49.1%増）、営業利益は47百万円（前期は3億87百万円の営業損失）と黒字転換いたしました。

ビューティー&ヘルスケア事業

2022年9月に株式交付により株式会社ユニヴァ・フュージョンを子会社化いたしました。同社は美容・健康関連商品の企画・販売を営んでおり、コンプチャクレンズを始めとした顧客満足度が高い美容・健康商品を主に一般消費者向けに販売しております。美容・健康は消費者にとって関心が高いテーマであり、関連ビジネスの裾野も広くビジネス機会の頻度も高い「健康・美容ビジネス」を新たに当社グループに取り込むことにより、事業をポートフォリオに組み込むことによる収益力向上を図ってまいります。

株式会社ユニヴァ・フュージョンは12月決算会社であることから、当期においては2022年10月1日から2022年12月31日までの業績を取り込みました。以上の結果、ビューティー&ヘルスケア事業の売上高は5億24百万円、営業損失は、販売促進費を投入したため、7百万円となりました。

クリーンエネルギー事業

クリーンエネルギー事業では、株式会社ノースエナジーが自家消費型太陽光発電システム、蓄電池システム設備の販売・施工などのクリーンエネルギー分野を成長事業とし、脱炭素社会の実現に向け事業展開してまいりました。しかしながら、太陽光発電設備の設置可能な用地の確保に時間を要したことや新規顧客開拓が低調だったことなどにより、計画未達となり、大幅な減収減益となりました。

以上の結果、クリーンエネルギー事業の売上高は8億6百万円（前期比54.6%減）、営業損失は2億34百万円（前期は85百万円の営業損失）となりました。

デジタルマーケティング事業

2022年6月に子会社化した株式会社ユニヴァ・ジャイロンがデジタルマーケティング支援を目的としたツールベンダー事業を展開してまいりました。

以上の結果、デジタルマーケティング事業の売上高は1億78百万円、営業損失は12百万円となりました。

その他事業

その他事業では、コミュニティFM放送局「FM軽井沢」、米国ハワイのリゾートゴルフ場「マカニゴルフクラブ」、フランスの最高級カトラリーブランド「クリストフル」など、様々な人のライフスタイルに役立つ事業分野の他、2022年6月に株式会社ライゾーマビジネスを設立し、グループ内部の管理部門を取りまとめ、シェアードサービス事業への足固めを行いました。

以上の結果、その他事業の売上高は1億52百万円（前期比187.6%増）、営業損失は1百万円（前期は12百万円の営業損失）となりました。

その結果、当期の連結業績は営業収益（売上高）20億47百万円（前期比21.6%減）、営業損失は7億71百万円（前期は営業損失10億34百万円）となりました。経常損失は5億82百万円（前期は経常損失9億69百万円）となりました。また、親会社株主に帰属する当期純損失は6億87百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失16億63百万円）となりました。

（重要経営指標）

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高 (千円)	2,611,996	2,047,777
営業損益 (△は損失) (千円)	△1,034,343	△771,574
親会社株主に帰属する当期純損益 (△は損失) (千円)	△1,663,605	△687,605
総資産 (千円)	7,361,417	7,560,778
純資産 (千円)	4,155,252	4,504,870
投資収益率 (%)	—	—
自己資本比率 (%)	54.77	55.98
1株当たり当期純損益 (△は損失) (円)	△29.62	△9.22
1株当たり配当額 (円)	—	—
従業員1人当たり営業損益 (△は損失) (千円)	△14,169	△8,868
従業員数 (人)	73	87

(2) 当期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産（連結）の状況

当期末の総資産につきましては、前期末と比べ、1億99百万円増加し75億60百万円となりました。負債につきましては、前期末と比べ、1億50百万円減少し30億55百万円となりました。純資産につきましては、前期末と比べ、3億49百万円増加し45億4百万円となりました。総資産及び純資産が増加した主な要因は、2022年9月30日付で実施した株式交付により資本剰余金が増加したこと及び当該株式交付により株式会社ユニヴァ・フュージョンを連結の範囲に含めたことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当期末の現金及び現金同等物は、前期末と比べ、6億53百万円減少し13億3百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億21百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、税金等調整前当期純損失の計上及び役員退職慰労金の支払いによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、9億41百万円のキャッシュ・インフローとなりました。その主な要因は、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入及び投資不動産の売却による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、5億76百万円のキャッシュ・アウトフローとなりました。その主な要因は、短期借入金の純減少（返済）及び長期借入金の返済による支出によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率 (%)	87.5	61.0	61.5	54.8	56.0
時価ベースの自己資本比率 (%)	95.3	46.4	69.2	71.5	87.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	—	—	2.4	—	—
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	28.5	—	—

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 2. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 3. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。
 4. 2019年3月期、2020年3月期、2022年3月期及び2023年3月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）及びインタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）につきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や世界的な金融引き締めによる経済成長の鈍化など、先行きが不透明な状態が続く予断を許さない状況が継続するものと思われま。

このような状況の下、2024年3月期は新たにグループに取り込んだビューティー&ヘルスケア事業及びデジタルマーケティング事業の業績が通期で反映されてくるとともに、2023年3月期からの3か年を対象とした「第1次中期経営計画」をベースに各事業の収益力の強化を図り、中期経営計画の初年度で達成できなかった連結営業利益黒字化、2年目の目標である連結当期純利益の黒字化を達成するべく全社一丸となって経営を進めてまいります。

なお、2024年3月期の業績予想につきましては、株式市場の変動要因による影響が極めて大きく、合理的な業績予想の算定が困難であることから業績予想の開示は行わず、四半期決算の迅速な開示に努めるとともに合理的な予想が可能となりました段階で速やかに開示を行う予定であります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、当期において営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上し、2019年3月期から5期連続して営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失を計上したため、期末日後1年以内に資金的支障が生じるのではないかと懸念もあり、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

これまでの金融事業における投資先の株価動向等の市場環境に大きく左右される収益構造は改善すべき長年の課題であると認識しており、かかる状況に対処するため、前期に経営体制を刷新するとともに2021年11月に新経営方針を、さらに2022年6月に2023年3月期から2025年3月期の3か年を対象とした「第1次中期経営計画」を公表いたしました。この中期経営計画では、新経営方針で掲げた3つの事業領域（「狩猟型ビジネス」「農耕型ビジネス」「開発型ビジネス」）において、金融事業に留まらない将来に向け当社グループの成長に資する新たな事業の確立を通じ、強固な経営基盤の構築と新たな価値の創造を実現すべく、各種戦略を推進してまいります。

その戦略の一環として、2022年5月にデジタルマーケティング事業を展開する株式会社ユニヴァ・ジャイロンを子会社化し、さらに2022年9月に株式交付により、株式会社ユニヴァ・フュージョンを子会社化いたしました。また、スターリング証券株式会社や株式会社ノースエナジーといった既存子会社も収益力の強化に取り組んでまいりました。

しかしながら、金融事業においては黒字となりましたが、新規の投資案件をほとんど獲得することができず、アドバイザー部門も特筆すべき成果を上げることができませんでした。また、クリーンエネルギー事業においても、太陽光発電設備の設置可能な用地確保に時間を要したことや、新規販売が低調だったことなどにより大幅な減収減益となり、中期経営計画の初年度の目標である連結営業利益黒字化は達成することができませんでした。

このような状況において、金融事業を行うスターリング証券株式会社においては、新規投資案件の獲得が思うように進まなかった点の改善策として経営改革をさらに加速させる必要があると認識しており、具体的には既に金融商品の専門家である外部人材を活用しながらの経営体制刷新も完了し、この新体制の元で来期はさらなる経営改革を断行して新規投資案件獲得を強力に推し進め、利益獲得に邁進してまいります。

クリーンエネルギー事業を行う株式会社ノースエナジーにおいては、用地確保を迅速に行う社内体制は構築できたと認識しており、すでに採用済みの外部人材の有効活用もあり黒字化への動きは現実的だと認識しております。

さらに、新たに当社グループの一員となった株式会社ユニヴァ・フュージョン及び株式会社ユニヴァ・ジャイロンにおいても、早期に当社グループの業績に寄与させるべく新製品の開発と積極的な広告宣伝活動により一層の収益力強化に取り組んでまいります。

しかしながら、初年度の目標であった連結営業利益の黒字化及び2年目の目標である連結当期純利益の黒字化には不確実性が存在しており、今後の事業継続には資金の確保が必要となります。そこで資金面を検討した結果、当期末において当社グループでは13億3百万円の現預金を、当社単体では現預金並びに保有上場株式を合計で6億16百万円を確保しており、また、保守的に作成した今後1年間の資金繰計画においても、当社グループ全体で資金不足が生じることはないかと認識し、当期末において継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断いたしました。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、国際会計基準に基づく連結財務諸表を作成するための体制整備の負担等を考慮し、日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

なお、国際会計基準の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,956,990	1,303,797
売掛金	579,834	485,410
契約資産	34,247	42,595
営業投資有価証券	318,646	499,391
棚卸資産	206,653	583,093
関係会社短期貸付金	30,000	412,367
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	254,912	116,283
その他	463,990	341,275
貸倒引当金	△117,809	△46,863
流動資産合計	3,727,465	3,737,352
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	101,933	82,569
減価償却累計額	△33,059	△33,378
建物及び構築物(純額)	68,873	49,191
機械装置及び運搬具	287,885	223,945
減価償却累計額	△105,090	△86,110
機械装置及び運搬具(純額)	182,794	137,834
工具、器具及び備品	69,502	67,778
減価償却累計額	△43,498	△46,428
工具、器具及び備品(純額)	26,003	21,350
土地	1,232,305	1,237,449
リース資産	10,511	7,176
減価償却累計額	△2,090	△4,606
リース資産(純額)	8,420	2,570
建設仮勘定	24,981	24,827
有形固定資産合計	1,543,377	1,473,223
無形固定資産		
のれん	231,928	851,975
その他	31,633	32,528
無形固定資産合計	263,561	884,503
投資その他の資産		
投資有価証券	210,612	167,135
関係会社長期貸付金	804,671	837,226
繰延税金資産	50,892	24,177
投資不動産	313,545	-
その他	496,835	498,031
貸倒引当金	△85,448	△85,448
投資その他の資産合計	1,791,109	1,441,122
固定資産合計	3,598,048	3,798,849
繰延資産		
株式交付費	14,364	9,547
社債発行費等	21,538	15,028
繰延資産合計	35,903	24,575
資産合計	7,361,417	7,560,778

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	177,484	282,907
短期借入金	753,000	377,200
1年内償還予定の社債	73,600	87,600
1年内返済予定の長期借入金	107,796	175,468
未払金	326,114	211,518
未払法人税等	30,588	51,439
契約負債	149,827	159,033
預り金	31,627	50,531
株主優待引当金	70,676	58,442
その他	242,463	308,305
流動負債合計	1,963,177	1,762,445
固定負債		
社債	194,600	179,000
長期借入金	549,470	629,737
繰延税金負債	2,272	48,749
解体撤去引当金	49,300	49,300
役員退職慰労引当金	30,626	57,638
退職給付に係る負債	68,899	46,372
資産除去債務	38,902	56,585
その他	308,916	226,080
固定負債合計	1,242,987	1,293,462
負債合計	3,206,165	3,055,908
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,787,920	4,787,920
資本剰余金	2,637,783	3,597,002
利益剰余金	△3,297,469	△3,985,074
自己株式	△13,901	△13,977
株主資本合計	4,114,333	4,385,871
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△33,425	41,556
為替換算調整勘定	△49,236	△194,858
その他の包括利益累計額合計	△82,662	△153,301
新株予約権	4,794	4,794
非支配株主持分	118,788	267,506
純資産合計	4,155,252	4,504,870
負債純資産合計	7,361,417	7,560,778

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	2,611,996	2,047,777
売上原価	2,140,381	993,236
売上総利益	471,614	1,054,540
販売費及び一般管理費	1,505,958	1,826,114
営業損失(△)	△1,034,343	△771,574
営業外収益		
受取利息	34,571	43,159
受取保険金	150	-
為替差益	243,289	229,528
貸倒引当金戻入額	30,040	20,000
その他	12,763	20,257
営業外収益合計	320,814	312,945
営業外費用		
支払利息	18,071	18,531
持分法による投資損失	229,642	85,505
その他	8,295	19,679
営業外費用合計	256,008	123,716
経常損失(△)	△969,538	△582,345
特別利益		
固定資産売却益	1,043	156,465
その他	-	6,218
特別利益合計	1,043	162,684
特別損失		
固定資産売却損	1,351	-
固定資産除却損	18,654	163
関係会社株式売却損	-	7,575
役員退職慰労金	327,000	-
損害賠償金	-	15,321
減損損失	274,737	56,901
のれん償却額	-	151,714
事業構造改革費用	101,628	-
その他	29,531	6,170
特別損失合計	752,902	237,846
税金等調整前当期純損失(△)	△1,721,397	△657,507
法人税、住民税及び事業税	3,121	24,798
法人税等調整額	△13,595	78,969
法人税等合計	△10,473	103,767
当期純損失(△)	△1,710,924	△761,274
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△47,318	△73,669
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△1,663,605	△687,605

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純損失(△)	△1,710,924	△761,274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,171	74,982
為替換算調整勘定	△119,062	△183,130
持分法適用会社に対する持分相当額	26,024	37,509
その他の包括利益合計	△79,866	△70,638
包括利益	△1,790,790	△831,913
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,743,472	△758,244
非支配株主に係る包括利益	△47,318	△73,669

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,282,010	2,136,908	△1,633,864	△13,797	4,771,256
当期変動額					
新株の発行(新株予約権の行使)	505,910	505,910			1,011,821
連結子会社株式の取得による持分の増減		△5,034			△5,034
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△1,663,605		△1,663,605
自己株式の取得				△103	△103
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	505,910	500,875	△1,663,605	△103	△656,923
当期末残高	4,787,920	2,637,783	△3,297,469	△13,901	4,114,333

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△46,597	43,801	△2,796	-	200,262	4,968,722
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)						1,011,821
連結子会社株式の取得による持分の増減						△5,034
親会社株主に帰属する当期純損失(△)						△1,663,605
自己株式の取得						△103
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	13,171	△93,038	△79,866	4,794	△81,474	△156,546
当期変動額合計	13,171	△93,038	△79,866	4,794	△81,474	△813,469
当期末残高	△33,425	△49,236	△82,662	4,794	118,788	4,155,252

当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,787,920	2,637,783	△3,297,469	△13,901	4,114,333
当期変動額					
株式交付による増加		959,254			959,254
連結子会社株式の取得による持分の増減		△36			△36
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△687,605		△687,605
自己株式の取得				△75	△75
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	959,218	△687,605	△75	271,538
当期末残高	4,787,920	3,597,002	△3,985,074	△13,977	4,385,871

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△33,425	△49,236	△82,662	4,794	118,788	4,155,252
当期変動額						
株式交付による増加						959,254
連結子会社株式の取得による持分の増減						△36
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)						△687,605
自己株式の取得						△75
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	74,982	△145,621	△70,638	-	148,718	78,079
当期変動額合計	74,982	△145,621	△70,638	-	148,718	349,617
当期末残高	41,556	△194,858	△153,301	4,794	267,506	4,504,870

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△1,721,397	△657,507
減価償却費	42,114	37,321
減損損失	274,809	56,901
のれん償却額	30,084	209,335
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30,523	△82,220
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△31,503	△22,527
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	30,626	27,012
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	70,676	△12,233
受取利息及び受取配当金	△34,571	△43,159
支払利息	18,071	18,531
為替差損益 (△は益)	△241,746	△227,758
持分法による投資損益 (△は益)	229,642	85,505
受取保険金	△150	-
有形固定資産売却損益 (△は益)	308	△156,465
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	7,575
役員退職慰労金	327,000	-
事業構造改革費用	101,519	-
売上債権の増減額 (△は増加)	△234,493	392,435
棚卸資産の増減額 (△は増加)	120,612	△137,318
営業投資有価証券の増減額 (△は増加)	△14,805	△87,422
預託金の増減額 (△は増加)	20,567	-
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△22,011	△10,206
その他の資産の増減額 (△は増加)	△3,021	76,116
仕入債務の増減額 (△は減少)	△63,369	△939
受入保証金の増減額 (△は減少)	△5,207	-
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△47,568	△30,599
その他の負債の増減額 (△は減少)	119,109	△174,040
その他	20,312	32,251
小計	△1,044,915	△699,411
利息及び配当金の受取額	17	79
利息の支払額	△18,075	△18,767
保険金の受取額	150	-
役員退職慰労金の支払額	△117,000	△210,000
法人税等の支払額	△10,113	△92,980
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,189,936	△1,021,080
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△142,881	△17,075
有形固定資産の売却による収入	17,516	63,104
無形固定資産の取得による支出	△12,059	△11,100
投資不動産の売却による収入	-	432,700
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△136,088
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	604,309
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	53,518
貸付けによる支出	△51,985	△52,910
貸付金の回収による収入	-	10,000
差入保証金の差入による支出	△532	△652
差入保証金の回収による収入	13,169	237
その他	△8,302	△4,533
投資活動によるキャッシュ・フロー	△185,075	941,509

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	186,000	△375,800
長期借入れによる収入	55,000	20,000
長期借入金の返済による支出	△105,132	△132,779
社債の発行による収入	87,491	38,956
社債の償還による支出	△70,800	△77,600
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,315	△2,293
割賦債務の返済による支出	△16,543	△16,543
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,000,428	-
新株予約権の発行による収入	4,794	-
新株予約権の発行による支出	△16,991	-
自己株式の取得による支出	△103	△75
配当金の支払額	△369	△10
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△39,190	△25,658
その他	-	△4,926
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,082,266	△576,730
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,797	3,108
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△288,948	△653,192
現金及び現金同等物の期首残高	2,245,939	1,956,990
現金及び現金同等物の期末残高	1,956,990	1,303,797

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容を基礎とした連結会社ごとの経営管理を行っております。従いまして、当社グループは連結会社別の事業セグメントから構成されており、「金融事業」、「クリーンエネルギー事業」、「モバイル事業」の3つを報告セグメントとしております。

「金融事業」では、主に投資銀行業務及びアセットマネジメント業務を行っております。「クリーンエネルギー事業」では、主に太陽光発電設備の企画・販売を行っております。「モバイル事業」では携帯ショップの運営及びWi-Fiレンタルサービスの提供などを行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務諸 表計上額 (注) 4
	金融	クリーン エネルギー	モバイル	計				
売上高								
外部顧客への売上高	200,989	1,774,521	591,492	2,567,002	44,993	2,611,996	—	2,611,996
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	8,000	8,000	△8,000	—
計	200,989	1,774,521	591,492	2,567,002	52,993	2,619,996	△8,000	2,611,996
セグメント利益又は損失 (△)	△387,516	△85,147	△6,420	△479,084	△12,167	△491,251	△543,092	△1,034,343
セグメント資産	2,198,674	3,190,045	99,055	5,487,776	21,599	5,509,375	1,852,042	7,361,417
その他の項目								
減価償却費	2,221	28,929	3,932	35,083	1,250	36,333	5,780	42,114
のれん償却額	9,000	21,084	—	30,084	—	30,084	—	30,084
有形固定資産及び無形固 定資産の増加額	21,040	154,881	1,951	177,873	—	177,873	47,261	225,135

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コミュニティFM放送事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△543,092千円には、セグメント間取引消去8,471千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△551,563千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額1,852,042千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に各報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。

4. セグメント利益又は損失(△)は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、事業内容を基礎とした連結会社ごとの経営管理を行っております。従いまして、当社グループは連結会社別の事業セグメントから構成されており、「金融事業」、「ビューティー&ヘルスケア事業」、「クリーンエネルギー事業」、「モバイル事業」、「デジタルマーケティング事業」の5つを報告セグメントとしております。

「金融事業」では、主に投資銀行業務及びアセットマネジメント業務を行っております。「ビューティー&ヘルスケア事業」では、主に一般消費者向けの美容・健康関連商品の企画及び販売を行っております。「クリーンエネルギー事業」では、主に太陽光発電設備の企画・販売を行っております。「モバイル事業」では携帯ショップの運営及びWi-Fiレンタルサービスの提供などを行っております。「デジタルマーケティング事業」では、デジタルマーケティングに関する支援ツールの提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。また、セグメント間の内部収益及び振替高は第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2、3	連結財務 諸表計上 額 (注) 4
	金融	ビュー ティー &ヘル スケア	クリー ンエ ネルギ ー	モバイ ル	デジ タル マー ケティ ング	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	299,721	524,538	806,394	192,840	178,357	2,001,852	45,924	2,047,777	—	2,047,777
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	106,468	106,468	△106,468	—
計	299,721	524,538	806,394	192,840	178,357	2,001,852	152,393	2,154,246	△106,468	2,047,777
セグメント利益 又は損失 (△)	47,941	△7,244	△234,961	△17,519	△12,747	△224,531	△1,139	△225,671	△545,902	△771,574
セグメント資産	2,379,807	1,662,343	2,929,585	—	183,295	7,155,031	37,861	7,192,892	367,885	7,560,778
その他の項目										
減価償却費	211	1,381	24,257	1,058	1,643	28,552	1,238	29,790	7,530	37,321
のれん償却額	0	25,364	172,798	—	11,172	209,335	—	209,335	—	209,335
有形固定資産 及び無形固定 資産の増加額	—	18,729	42,103	165	326	61,325	605	61,930	11,265	73,196

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コミュニティFM放送事業及びシェアードサービス事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△545,902千円には、セグメント間取引消去8,634千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△554,536千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント資産の調整額367,885千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主に各報告セグメントに帰属しない現金及び預金であります。

4. セグメント利益又は損失 (△) は、連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、当社が株式会社ユニヴァ・ジャイロンの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、新たに「デジタルマーケティング事業」を報告セグメントに加えることといたしました。

また、第2四半期連結会計期間において、当社が株式交付により株式会社ユニヴァ・フュージョンの株式を取得し、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、新たに「ビューティー&ヘルスケア事業」を報告セグメントに加えることといたしました。

一方、第2四半期連結会計期間において「モバイル事業」を営んでいた株式会社ノースコミュニケーションの株式を売却したことに伴い、連結の範囲から除外したことにより、「モバイル事業」から撤退いたしました。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	59.73円	52.49円
1株当たり当期純損失金額(△)	△29.62円	△9.22円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失金額であるため、記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
純資産の部の合計額(千円)	4,155,252	4,504,870
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	123,582	272,300
(うち、新株予約権)	(4,794)	(4,794)
(うち、非支配株主持分)	(118,788)	(267,506)
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	4,031,670	4,232,569
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	67,493,698	80,633,212

3. 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり当期純損失金額		
親会社株主に帰属する当期純損失金額(△) (千円)	△1,663,605	△687,605
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失金額(△)(千円)	△1,663,605	△687,605
期中平均株式数(株)	56,172,740	74,611,066
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	第10回新株予約権(新株予約権の数51,000個(普通株式5,100,000株))。	

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

4. 個別財務諸表

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,306,229	262,523
売掛金	136,777	136,777
営業投資有価証券	262,021	403,987
前払費用	22,546	28,190
関係会社短期貸付金	33,000	950,947
1年内回収予定の関係会社長期貸付金	278,184	127,242
未収入金	78,207	3,725
その他	77,635	94,054
貸倒引当金	△117,288	△46,000
流動資産合計	2,077,314	1,961,448
固定資産		
有形固定資産		
建物	39,596	0
車両運搬具	664	0
工具、器具及び備品	25,067	19,240
リース資産	2,091	0
有形固定資産合計	67,420	19,240
無形固定資産	1,301	0
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
関係会社株式	294,480	1,406,262
関係会社長期貸付金	2,848,543	3,014,878
投資不動産	313,545	-
その他	86,933	107,482
投資損失引当金	-	△130,000
貸倒引当金	△1,039,000	△1,700,000
投資その他の資産合計	2,507,003	2,701,123
固定資産合計	2,575,725	2,720,364
繰延資産		
株式交付費	14,364	9,547
社債発行費等	15,196	9,474
繰延資産合計	29,561	19,021
資産合計	4,682,600	4,700,834

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当事業年度 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
信用取引買掛金	-	40,546
リース債務	837	857
未払金	249,794	17,842
未払費用	9,169	12,054
未払法人税等	29,071	28,127
契約負債	1,650	-
預り金	16,828	3,576
前受収益	1,707	2,428
株主優待引当金	70,676	58,442
その他	18,796	14
流動負債合計	398,531	163,891
固定負債		
リース債務	2,864	2,007
繰延税金負債	2,272	43,384
退職給付引当金	67,649	45,872
役員退職慰労引当金	30,626	57,638
資産除去債務	27,662	27,737
固定負債合計	131,075	176,639
負債合計	529,606	340,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,787,920	4,787,920
資本剰余金		
資本準備金	2,005,910	2,965,165
その他資本剰余金	663,803	663,803
資本剰余金合計	2,669,713	3,628,968
利益剰余金		
利益準備金	35,500	35,500
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	△3,308,501	△4,124,459
利益剰余金合計	△3,273,001	△4,088,959
自己株式	△13,901	△13,977
株主資本合計	4,170,731	4,313,952
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△22,531	41,556
評価・換算差額等合計	△22,531	41,556
新株予約権	4,794	4,794
純資産合計	4,152,993	4,360,303
負債純資産合計	4,682,600	4,700,834

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	169,675	221,920
売上原価	211,230	185
売上総利益又は売上総損失(△)	△41,554	221,734
販売費及び一般管理費	604,171	563,671
営業損失(△)	△645,725	△341,937
営業外収益		
受取利息	30,443	40,009
為替差益	242,845	134,560
貸倒引当金戻入額	30,000	-
その他	4,641	6,888
営業外収益合計	307,930	181,458
営業外費用		
支払利息	73	107
株式交付費償却	1,188	5,408
社債発行費等償却	1,970	5,722
貸倒引当金繰入額	-	549,000
その他	212	2
営業外費用合計	3,445	560,240
経常損失(△)	△341,240	△720,718
特別利益		
固定資産売却益	-	120,948
特別利益合計	-	120,948
特別損失		
固定資産売却損	80	-
固定資産除却損	3,703	16
関係会社株式評価損	946,532	9,999
投資損失引当金繰入額	-	130,000
減損損失	-	52,190
役員退職慰労金	327,000	-
事業構造改革費用	1,068,628	-
特別損失合計	2,345,944	192,206
税引前当期純損失(△)	△2,687,184	△791,976
法人税、住民税及び事業税	1,210	1,210
法人税等調整額	2,269	22,771
法人税等合計	3,479	23,981
当期純損失(△)	△2,690,664	△815,958

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	4,282,010	1,500,000	663,803	2,163,803	35,500	△617,837	△582,337
当期変動額							
新株の発行 (新株予約権の行使)	505,910	505,910		505,910			
当期純損失 (△)						△2,690,664	△2,690,664
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	505,910	505,910	-	505,910	-	△2,690,664	△2,690,664
当期末残高	4,787,920	2,005,910	663,803	2,669,713	35,500	△3,308,501	△3,273,001

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△13,797	5,849,677	△46,597	△46,597	-	5,803,080
当期変動額						
新株の発行 (新株予約権の行使)		1,011,821				1,011,821
当期純損失 (△)		△2,690,664				△2,690,664
自己株式の取得	△103	△103				△103
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)			24,066	24,066	4,794	28,860
当期変動額合計	△103	△1,678,946	24,066	24,066	4,794	△1,650,086
当期末残高	△13,901	4,170,731	△22,531	△22,531	4,794	4,152,993

当事業年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本						
	資本金	資本剰余金			利益剰余金		
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計	利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金合計
当期首残高	4,787,920	2,005,910	663,803	2,669,713	35,500	△3,308,501	△3,273,001
当期変動額							
株式交付による増加	-	959,254	-	959,254			
当期純損失 (△)						△815,958	△815,958
自己株式の取得							
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)							
当期変動額合計	-	959,254	-	959,254	-	△815,958	△815,958
当期末残高	4,787,920	2,965,165	663,803	3,628,968	35,500	△4,124,459	△4,088,959

	株主資本		評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計
	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算差額 等合計		
当期首残高	△13,901	4,170,731	△22,531	△22,531	4,794	4,152,993
当期変動額						
株式交付による増加		959,254				959,254
当期純損失 (△)		△815,958				△815,958
自己株式の取得	△75	△75				△75
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)			64,088	64,088	-	64,088
当期変動額合計	△75	143,221	64,088	64,088	-	207,309
当期末残高	△13,977	4,313,952	41,556	41,556	4,794	4,360,303